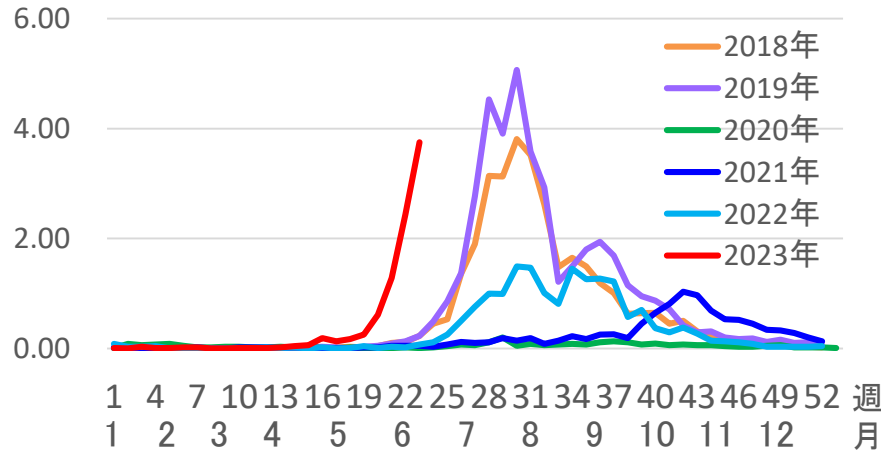


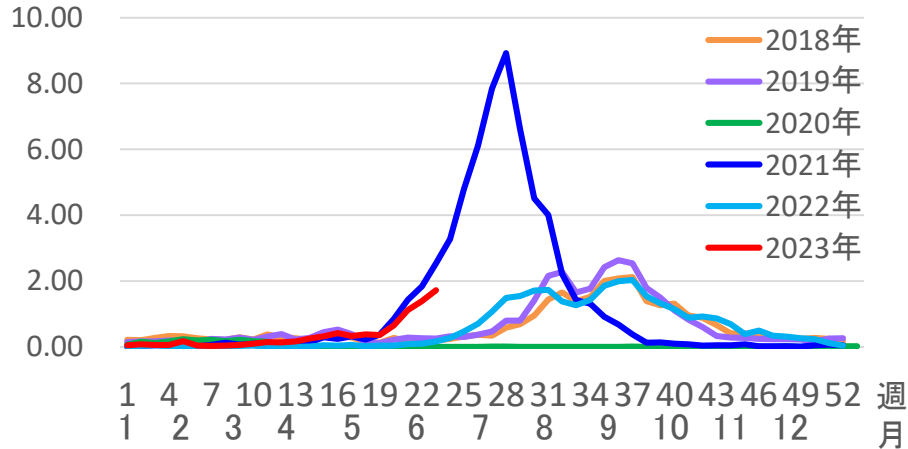
子供を中心に流行する感染症の拡大

ヘルパンギーナ・RSウイルス感染症の患者が増加

ヘルパンギーナ



RSウイルス感染症



○ 都内における週別定点あたりの患者報告数 2023年は、6月11日までのデータ

令和5 (2023) 年6月16日 (金)

子供を中心に流行する感染症の症状等

ヘルパンギーナの症状等

- **乳幼児を中心に夏季に流行する夏かぜの代表**
- **発熱に続いて咽頭痛、口腔内やのどの奥に水疱が出現**

RSウイルス感染症の症状等

- **RSウイルスによる呼吸器の疾患**
- **乳幼児における肺炎の約50%を占めるとの報告**

子供を中心に流行する感染症の注意点

- ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症は、有効なワクチンや予防薬はない
- 予防方法は、手洗い・うがい・咳エチケット 等

子供を感染から守るため

地域の医療機関の負担を減らすため

基本的な感染対策 ご協力をお願いします！

麻疹（はしか）の予防

○麻疹（はしか）の症状

- ・ **感染力が極めて強く、感染者の90%以上が発症**
- ・ **肺炎、脳炎等の重い合併症を発症する場合あり**



外務省海外安全ホームページ
(麻疹・風しん)

○麻疹（はしか）は、有効な治療方法がなく、
予防する唯一の手段はワクチン接種

○特に、海外に行く予定の方は、流行地域やワクチンの接種歴等をご確認いただき、**抗体検査や予防接種のご検討をお願いします。**